



ゆづりは

堺市立図書館だより

第3巻 第2号 (通巻8号)
発行日 平成20年9月10日
編集・発行 堺市立中央図書館
〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1

電話 072(244)3811
Fax 072(244)3321
URL <http://www.lib-sakai.jp/>

くらしに役立つ資料コーナー

堺市では、市民の生涯学習を支援するため、各図書館で重点分野を決めて資料の収集を行っています。(ページ下段参照)
また、それぞれの特色を考慮して、以下のようなコーナーを設置していますので、ご活用ください。

東図書館 ビジネス書コーナー

駅前という利便性を活かし、職業能力の開発や勤労者支援のため、約4,000冊のビジネス関連資料や官報、全国の電話帳などを集めたコーナーを設置しています。

官報の活用方法については「図書館で解決!?第10号」を参考にしてください。



西図書館 健康情報コーナー

健康に関する本や、パンフレットなどを集めたコーナーです。毎月テーマを決めて、ブックフェアも行っています。「健康」に関する、便利な情報、くらしに役立つ情報をお知らせしています。

「図書館で解決!?第13号」では、医療情報に役立つ資料をご紹介します。



北図書館 子育て支援コーナー

妊娠・出産に役立つ本から、育児・家庭教育・子ども連れのお出かけ情報など、子育てに関する本を集めています。

また、市内各所での子育てに関する催しのちらしなども置いています。



目次

くらしに役立つ資料コーナー …1
図書館わくわくパレード開催 …2
資料(点検)整理期間のおしらせ …2
わたしの”とっておきの一冊” …2
堺かるた・いろはの「に」 …3
「図書館で解決!?」のご案内 …3
この本で解決～数にまつわる話題～ …3
司書のイチ押し!
-『源氏物語』と『京都源氏物語地図』 …4
与謝野晶子生誕130年
源氏物語千年紀記念資料展 …4
堺市立図書館電話番号一覧 …4

ゆづりは

とは・・・

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人、河井醉茗氏の歌碑があります。

「年ごとにゆづりゆづりて
譲り葉の ゆづりしあとにまた新しく」

この歌にちなみ、年月を経て、世代を越えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だよりに「ゆづりは」と名づけました。

(河井醉茗氏については、「ゆづりは」通巻第1号にご紹介しています。)



各館分担当分野	○中央	情報科学/法律/政治・経済/文学	○南	芸術/スポーツ/娯楽/音楽
	○中	教育/技術/工業/環境問題/言語	○北	哲学/心理学/宗教/産業/運輸・交通/財政/国防
	○東	歴史/地理・地誌・紀行	○美原	園芸/畜産
	○西	自然科学/医学・薬学/家政学・生活科学		

図書館わくわくパレード開催

夏休み期間中、「図書館わくわくパレード」と銘打って、各図書館でおはなし大会や絵本の会、人形劇など、あわせて20の催しを行いました。以下の写真はそのごく一部です。



資料（点検）整理期間のお知らせ

資料の点検・整理作業を実施するため、以下の期間中各図書館が休館します。

中央図書館では昨年は12日間の休館をいただきましたが、今年度は開館時にも点検を行うことで5日間の休館となりました。開館時に行うことで、一部書庫資料の提供ができない時間帯がありますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

今年度の各館の資料(点検)整理期間の予定			
平成20年	西図書館	10月	2～7日
	東百舌鳥分館	10月	8～10日
	初芝分館	10月	16～17日
	中図書館	10月	20～24日
	堺市駅前分館	11月	12～14日
	青少年センター図書室	11月	19～20日
	中央図書館	12月	1～6日
平成21年	人権ふれあいセンター図書ホール	1月	21～23日
	榎分館	1月	28～30日
	美木多分館	1月	28～30日
	北図書館	2月	2～6日
	美原図書館	2月	16～23日

資料（点検）整理期間の間、図書館では「蔵書点検」を行っています。

蔵書点検とは、お店でいうと「棚卸し（たなおろし）」作業にあたります。検索をしたときに表示されている場所に、資料が実際に並んでいるかどうかを確認するために、館内にある資料を一冊一冊点検していく作業です。

わたしの“とっておきの一冊”～その7

今回は図書館に実習にこられた学生さんのとっておきを紹介します。10代、20代のおすすめは？

◆『ぼくのメジャースプーン』辻村深月

不思議な力を持った「ぼく」。小学校で飼っていたうさぎを殺した犯人に与える罰の重さを量り始める。幼なじみのふみちゃんを思いやる「ぼく」の気持ちがいよいよ最初から最後まで詰まっていた心が温かくなります。（女性）

◆『空色勾玉』荻原規子

日本の古代を舞台に書かれたファンタジーです。登場人物一人一人に個性があり、読んでいくうちに彼らにすごくひかれました。言葉の一つ一つがまるで生きていくかのように感じる位、細かに表現されています。本を読みながらいろいろな事を想像しました。（女性）

◆『できればムカつかずに生きたい』田ロランディ

高校時代の多感な時期に、私はこの本に出会いました。この本には、作者が生きてきた中で起こった家族・友人・自分自身への悩みや問題、またそれをどうやって乗り越えてきたかが数多く書かれています。家庭や学校、友人関係に悩みを持っていた私はこの本を読み、どのようにすれば自分の問題を解決できるかを教えてもらいました。この本のおかげで今の私がいるといっても過言ではありません。何か悩みをもっている人には、それを解決するヒントとしてぜひこの本を読んでもらいたいと思います。（男性）

◆『かかしごん』なりたさとこ

まず、かかしが、主人公であることに驚いた。ひかえめな色彩やシュールな世界観、なにやら愁いを秘めた文体、すべてに惹かれました。（男性）

◆『キノの旅』時雨沢恵一

あとがきを一つの作品として昇華させており、毎回違う手法でみせてくれる。このように、それまであとがきを無視していた私に大きな衝撃を与えてくれたから。（男性）

◆『星の王子さま』サン・テグジュペリ

王子さまは、大切なモノを探しに旅に出ます。新しい星々での様々な出会い、発見を通じ王子さまは自分の大切なモノに気づきます。読んだ後はその人にも大切なモノを気づかせてくれる作品だと思います。（男性）

◆『羅生門』芥川龍之介

中学生の時に、読書感想文の本として読んで、当時は何の話なのかわからず難しいという印象しかなかったが、改めて読む機会があり、そのときにおもしろいと思った。鬼が出てきたり、服をすべて持ち去ったりと、少し暴力的であったりもするが、人間の心の闇を表すように思える。芥川龍之介の作品の中で一番好きで、おもしろいと思う作品。（女性）

◆『マザー・グースのうた』谷川俊太郎訳

読みやすい訳詩と、堀内誠一さんの絵が織りなす本の世界に、自然とひき込まれました。愛らしさや残酷さ、シュールさなどを合わせもって、ページをめくるのが楽しみになる本です。（男性）

堺かるた-いろはの「に」

「上神谷の 鉢ヶ峯には 法道寺」



上神谷の
鉢ヶ峯には
法道寺

法道寺は、天智9年（670年）に法道仙人により創建されたと伝えられています。境内の多宝塔・食堂（じきどう）は、国の重要文化財に指定されています。春には桜、夏には百日紅が見事な花を咲かせ、秋は紅葉が美しく、訪れる人を和ませてくれます。

「図書館で解決!？」のご案内

図書館では、みなさまの調べもの等の手助けに活用していただくため、資料案内として「図書館で解決!？」を発行しています。以下タイトルをあげておりますので、興味のあるテーマがありましたら、ぜひご覧ください。（図書館ホームページでも公開しています）

- 1号「大和川の付け替え（川違え）について」
- 2号「堺のうたには、どんなものがあるの？」
- 3号「新聞を調べものに使う その1」
- 4号「新聞を調べものに使う その2」
- 5号「本を調べる-Web編」
- 6号「本を調べる-OPAC編 その1」
- 7号「本を調べる-OPAC編 その2」
- 8号「ハロウィン」
- 9号「クリスマス」
- 10号「官報を使ってみよう！」
- 11号「アジアの食と遊び～児童書で調べてみる」
- 12号「自転車のまち・堺市」
- 13号「医療情報お役立ち本」
- 14号「家紋について調べたい」

この本で解決！ ～数にまつわる話題～

今回は数に関する質問です。

数字といえば、統計数値などについての問い合わせは定番ですが、下にあげたような、数字にかかわる言葉についての興味深い質問も多く寄せられています。辞典をはじめ、いろいろな資料があることもわかりますね。

Q 数を表す漢字で、壹、弐など画数の多い漢字があるが、7、8、9はどのように書くのか知りたい。

「壹、弐、参」など画数の多い漢数字のことを「大字」（または多角数字）といいます。

「大字」を辞書で調べると、「漢字の一、二、三などの代りに使う壹・弐・参・肆・伍・陸・漆・捌・玖・拾などの字」（『広辞苑』（岩波書店））と解説されており、7、8、9はそれぞれ、漆・捌・玖と書くことがわかりました。

これらの字は日常ではあまり使いませんが、公正証書や契約書の作成において、重要な数量などを書き表す際には、加筆による変造を防ぐため、「一、二、三」などの代りに大字の「壹、弐、参」などが使用されています。（「壹弐参拾ノ字ヲ用ウヘシ」公証人法第37条第2項より）。

Q 青果物のセリ市で用いられる符丁で1～9の数字を表す言葉が知りたい。

『隠語大辞典』（皓星社）のp.1407に1～9として「ヒン、メーシ、ダイク、ウ、グノジ、カミ、ホン、バンド、キワ」が紹介されています。現在の卸売市場で行われているセリでは、手振符丁（品物の値段や数量を指で示す）や小さな黒板を用いたセリが一般的です。

Q 「福」を百の字体で書いた掛軸を見たことがあるが、「寿」でも同様の作品がないか。

著名な書家の作品では、白隠の「百寿の書」がよく知られており、『白隠 書と面の心』（グラフィック社）に収められています。このような作品のことを「百寿図」といい、『中国の年画』（大修館書店）、『中国シンボル・イメージ図典』（東京堂出版）にも別の百寿図が掲載されています。

Q 日本では、満60歳を還暦というが、中国でもそういう言い方をするのか知りたい。

『中国の冠婚葬祭』（東方出版）の誕生日祝いについての記述のなかに「花甲（還暦）」という言葉があり、『大漢和辞典』で花甲を調べると、満60歳を中国では「花甲」または「華甲」と呼ぶことがわかりました。

ちなみに韓国では、回甲、還甲、周甲などの呼び方があります（『目で見る韓国の産礼・婚礼・還暦・祭礼』（国書刊行会）より）

Q 秋の七草の歌があったと思うが、その歌で「花」がつかないのはおみなえしだけか。

『数のつく日本語辞典』（東京堂書店）で「七草」を調べると、秋の七草は「『万葉集』の秋の野の花を詠んだ山上憶良の歌にはじまる」とあり、その歌が「萩の花 尾花 葛花 なでしこが花 をみなへし また藤袴 朝顔が花」（万葉集巻八 一五三八）であることがわかりました。「花」がつかないのは、女郎花（おみなえし）と藤袴（ふじばかま）です。

司書のイチ押し！

『源氏物語』と『京都源氏物語地図』

今年は源氏物語千年紀ということで、全国各地でさまざまな催しがあるようですが、堺市立図書館でも9月は全館で源氏物語のブックフェアをしています。

古典の中でも最も有名なこの源氏物語ですが、あらずじは知られていても、全巻とおして読まれた方となると、かなり少なくなるのではないかと思います。もし、全巻原文で読破したいという方がいらっしゃったら、**角川文庫版「源氏物語」全10巻(玉上琢彌訳注)**はいかがでしょうか。注釈もついているし、現代語訳もついています。何より文庫本なので軽いです。手軽に持ち運びできるので電車の中でも読めます。難点は字が小さいこと。今読み返してみても、ああ、こんなに小さい字だったんだと思うことしきりですが、全巻をとおして読んでみると、源氏物語の世界の深さを感じることができます。

前半はよく知られているようにサクセスストーリーとなっていて、紆余曲折はありながらも、光源氏がこの世の栄華をすべて手に入れていきます。けれども源氏物語は、光源氏の成功を描くだけでは終わらず、後半に向かって一気に悲劇性を帯びてくるところにその真骨頂があります。栄華と裏腹のこの世のむなしさ、孤独、人生の意味などが心の深いところに響いてきます。さらに光源氏が亡くなった後の子の代まで描いていくストーリー展開の見事さが、他に追従を許さない物語の王者たるゆえんだと思います。

堺市立図書館電話番号一覧

音声応答サービス	280-0415
中央図書館	244-3811
くすのき号	244-3811
堺市駅前分館	222-0140
中図書館	270-8140
東百舌鳥分館	234-9600
東図書館	235-1345
初芝分館	286-0071
西図書館	271-2032
南図書館	294-0123
梅分館	296-0025
美木多分館	296-2111
北図書館	258-6850
美原図書館	369-1166
人権ふれあいセンター図書ホール	245-2534
青少年センター図書室	228-6331

そして、源氏物語を今読んでいる方、すでに読んだという方に、さらにおすすぬめがあります。

昨年11月に「**京都源氏物語地図**」(紫式部顕彰会編纂 思文閣出版)が刊行されました。これがとてもおもしろいのです。紫式部や源氏物語の登場人物をはじめとして、歴史上の実在の人物の家ものせた一枚の地図と、別冊の解説書という構成になっています。地図を広げると、それぞれの家の位置関係が一目瞭然です。

たとえば、髭黒(ひげくろ)と玉鬘(たまかづら)の家が紅梅左大臣の隣で、その2軒隣に女三宮が出家した後に住んでいて、薫もそこに住んでいたこと、そしてそれが現在の京都市役所前あたりだなんてことを知れば、想像力をかきたてられてちょっと楽しいと思いませんか。まさに地図の中に源氏物語の世界が広がりを見せ、それが現実の世界とも重なり合っているのです。「平安京やそれを取り囲む山々の位置が千年の昔から寸分変わらない」という事実がこんな不思議な世界を可能にしています。

源氏物語の世界をもっともっと身近に感じて、楽しんでいただけたらと思います。(M)

与謝野晶子生誕 130年 源氏物語千年紀記念資料展

源氏物語千年紀記念委員会とタイアップして、「与謝野晶子と源氏物語」をテーマに、図書館所蔵の初版本や自筆資料などを中央図書館ロビーで展示しています。(9月21日まで)
また、9月6日には同テーマで、平子恭子さんの講演会を行いました。



写真は与謝野晶子訳『新訳源氏物語』上巻(明治45年金尾文淵堂刊)の初版本表紙で、洋画家の中沢弘光による美しい装丁・挿絵が魅力的です。また、史上初の『源氏物語』全帖の現代語訳としても名高い作品です。親しみやすい表現で、最近も角川文庫で出版されるなど、多くの人に読みつがれています。